

子ども御飯

～みんなと食べよう～

Meals for Children

Eat together

和田光平ゼミ

川上千翔 山内直樹 大野友之祐 田崎麻鈴 中嶋大夢

担当教員 和田光平

キーワード：孤食、ひとり親家庭、子ども食堂、高齢者、学生寮

1. 問題と目的

メンバーの一人が母子家庭と父子家庭をともに経験し、子供の頃から孤食・栄養に偏りのある状態で過ごした。母子家庭においては料理とフルタイム労働に追いつめられる母の姿を目の当たりにし、父子家庭においては一日 750 円を与えられ、給食以外の食事をコンビニで購入して育った。その経験から、ひとり親家庭における食事の課題を解決したいと強く感じ、このビジネスプランを考えた。しかし、子どもたちの栄養面を家庭で支えようとすると時間やお金がかかる。それは、フルタイムで働く必要に迫られるひとり親にとって大きな負担となる。このビジネスプランによって子どもたちの栄養状態が改善され、また、ひとり親の時間的な負担も軽減することができる。それによってひとり親家庭の心身共に健やかな暮らしを実現したいと考え、このビジネスプランを考えた。

2. サービスの概要

八王子市内の学生寮で提供されている食事をひとり親(もしくは両親が共働き)の子供や高齢者が月謝制で食べられるようにする。手作りで温かい食事が安価な値段で食べることができ、また誰かと食事ができることでコミュニケーション不足の解消にもつながる。

3. ターゲット

2015 年の国勢調査から推計したところ、ひとり親家庭で、5 歳~19 歳の子供の数は八王子市に約 9000 人いた。また同調査において、65 歳以上の単独世帯は約 23000 世帯いた。

八王子の学生寮は、大塚町・初沢町・八日町・明神町・千人町・館町・元本郷町にある。他にも大学の近くに、運動部専用の学生寮がある。

4. 競合分析

・子ども食堂

→約70%の子ども食堂の運営費が年間30万円未満であり、材料費・スタッフ・会場のための経費が十分に確保できなく、継続性に課題がある。

本サービスでは、元々継続的に料理を提供する施設で行うために、その課題は解決される。

・外食、テイクアウト、出前

→食べるものを当人の主観で選ぶために、好き嫌いの激しい子供においては特に栄養が偏ってしまいがちである。また、一般に社員食堂や学生寮で食べるよりも値段が高く、ひとり親家庭の家計にとって厳しい。さらに、孤食におけるコミュニケーション不足などの問題がある。本サービスでは、社員食堂や学生寮で提供される料理が一般に栄養バランスが良く、コストも安いので優位性がある。また、利用者であるひとり親家庭の子を増やしたり、社員食堂や学生寮を普段から利用する者との交流を企画することで、孤食の問題を解決できる。

・親や子自らが料理をする

→ひとり親家庭の親は主にフルタイムで働いているために、子が食事を摂る時間に合わせて料理をすることが困難。また、作り置きをしても孤食の課題がある。本サービスでは、親の労働時間に関係なく、一般に食事を摂る時間帯に食事が提供される。また、上述の通り孤食の問題は解決される。